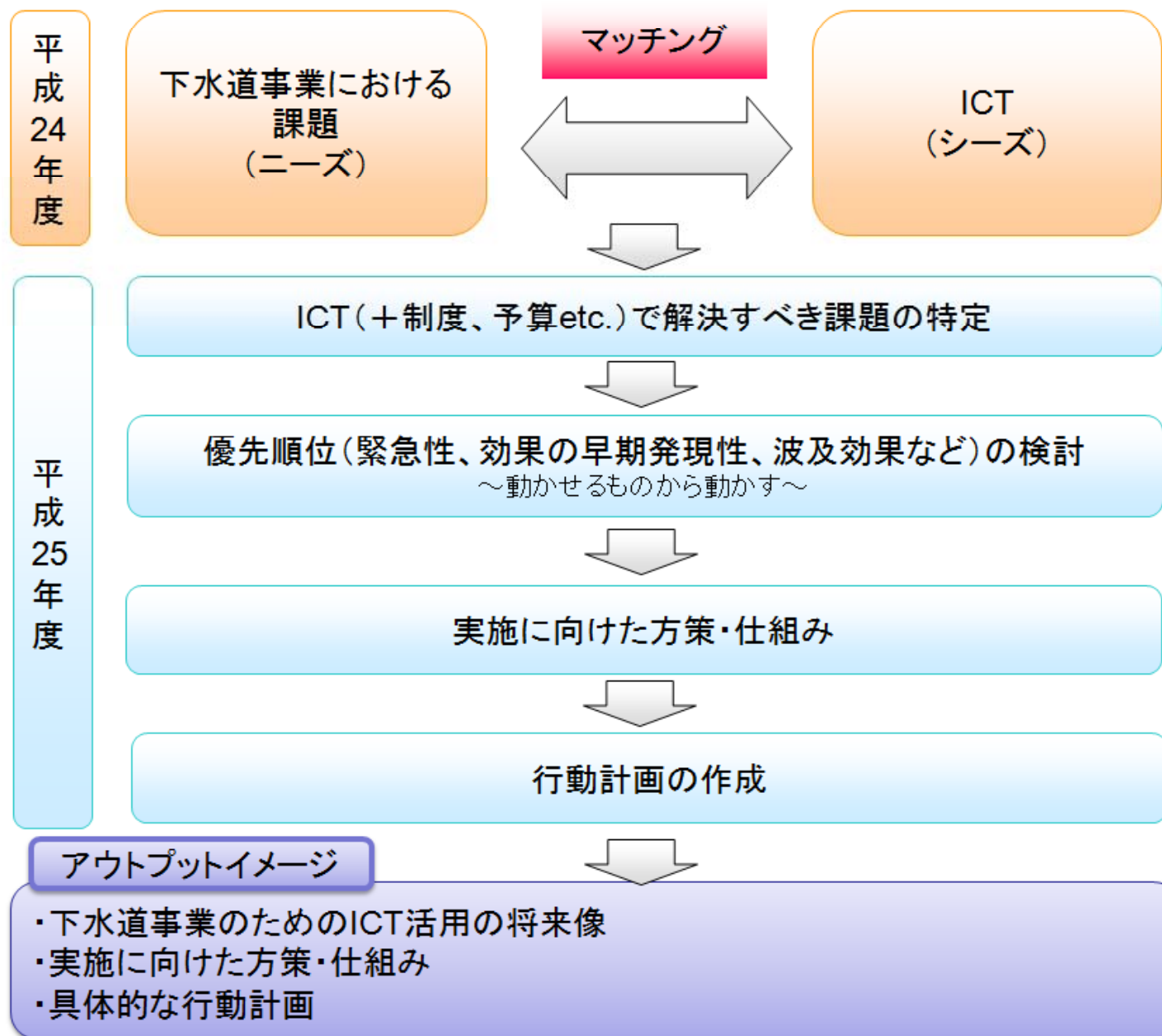


今後の検討の進め方



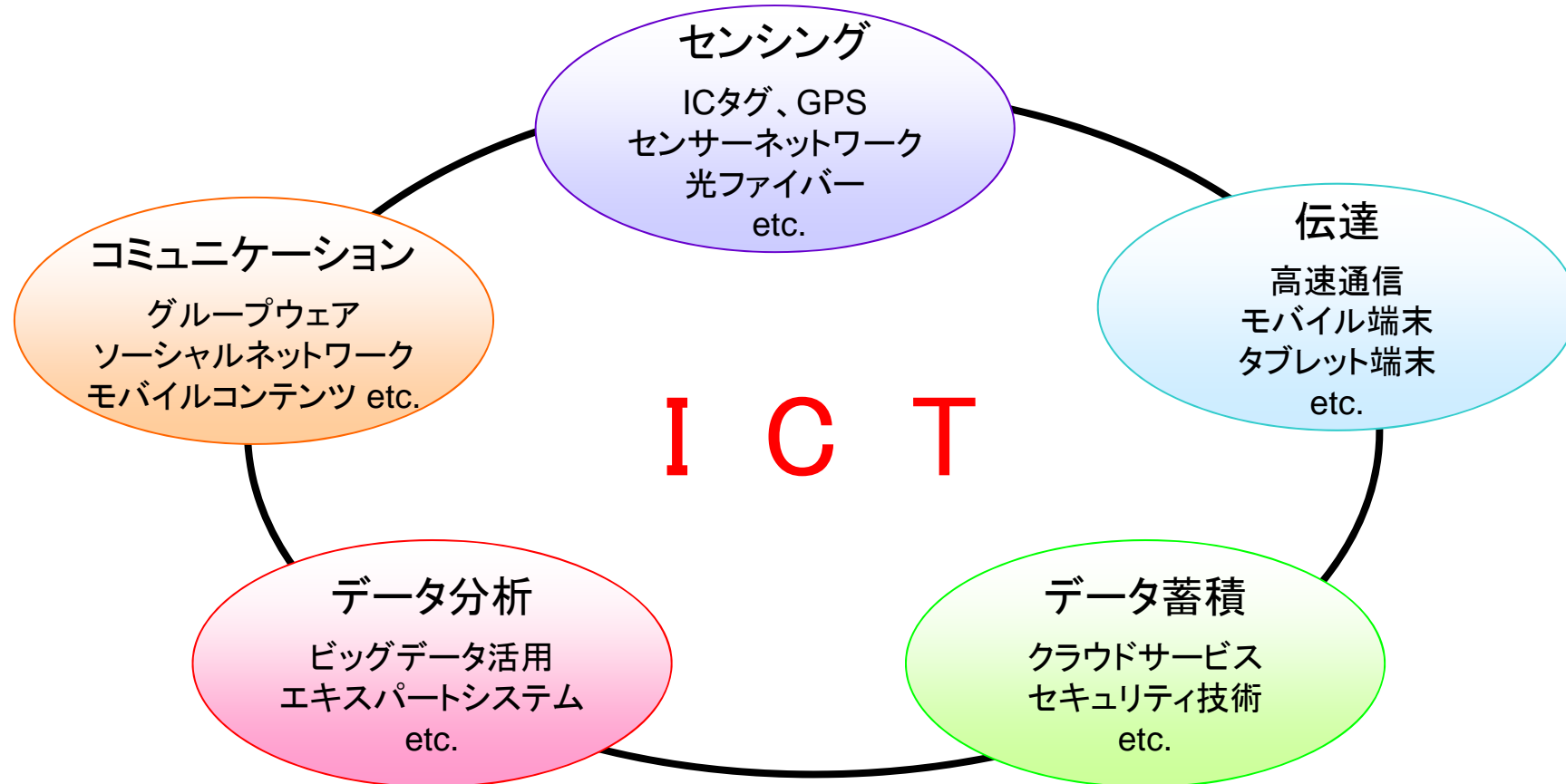
下水道事業における課題(ニーズ)の整理

・ICTで対応を検討する課題の例

業務	主体	住民・企業等	地方公共団体(委託先含む)(※)	国
平常時		下水道の役割の高度化 ・資源・エネルギー、再生水等のオンデマンド供給	維持管理の重要性の高まり ・調査・点検作業の効率化 ・長寿命化計画等作成の効率化 など	持続可能な下水道に向けた政策推進のため、地方公共団体の取組に資する効果的・効率的な情報収集・共有の仕組み ・ルール作り
		広報・情報共有 ・経営状況、施設健全度等の見える化、意見の発信	自治体の財政の逼迫 ・コストダウンによる経営健全化 など	
危機対応		災害対応 ・避難警報の受信 ・災害情報の見える化(被害状況・復旧見込み)	人材不足・技術継承 ・技術・ノウハウの継承・見える化 など	
		・資源・エネルギー・再生水の地域最適利用 ・台帳の電子化 など	経営状況・料金体系等に関する情報公開による住民理解の促進 など	
		・浸水対策施設の有効活用 ・効果的避難誘導システム ・被災情報の迅速把握 (センシングによる状況確認・台帳等施設情報の共有) ・代替施設の検索 など		

※地方公共団体の規模別に整理

ICT(シーズ)を技術カテゴリで整理



H24/12/27

第1回検討会

- ・検討の必要性
- ・委員からのプレゼンテーション
- ・今後の検討の進め方



H25/2/初旬

第2回検討会

- ・下水道事業の課題(ニーズ)の整理
- ・ICT(シーズ)の整理
- ・現地視察



H25/3/下旬

第3回検討会

- ・ニーズとシーズのマッチング



ICTを用いた課題解決方策
(中間とりまとめ)